

SAKUYO GAKUEN NEWS

# 作陽学園報

くらしき作陽大学／作陽音楽短期大学／岡山県作陽高等学校



くらしき作陽大学附属幼稚園 平成25年4月1日開園



■「新年度を迎えて」…3頁

学校法人作陽学園

理事長 松田英毅

■「作陽音大の系譜」……4頁

音楽学部長 吉田一成

■「食文化学部の

更なる発展に向けて」…5頁

食文化学部長 山下静江

■「子どものいいところ発見名人、

生きる力を伸ばすプロに!」…6頁

子ども教育学部長

高橋香代

■「地域音楽文化への貢献を

目指し新たな領域を拡充

した大学院音楽研究科」…7頁

くらしき作陽大学大学院

音楽研究科長 竹内京子

■「卒業後の進路について」…7頁

作陽音楽短期大学

音楽学科長 丹代 茂

■「岡山県作陽高等学校」

……8～9頁

■新任教員紹介・退職教員紹介

……10頁

■「明るく やさしく たくましく

豊かでしなやかな心を育てる

幼稚園へ」……11頁

くらしき作陽大学附属幼稚園

副園長 妹島三絵

■学生募集について ……12頁

■鶴声会近況報告・翠会だより

・高校同窓会……13頁

■平成24年度決算について

……14頁

■演奏会のご案内……15頁



# 450名の新たな一歩



桜の見頃を迎えた4月3日、平成25年度くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学・大学院の入学式が執り行われ、450名の新入生が新たな人生のスタートラインに立ちました。

また、4月19日、20日には、新入生学外オリエンテーションが行われ、研修先では学生同士、教員との親睦を深めました。

## 学外オリエンテーション



**海** 上自衛隊 呉音楽隊訪問

(音楽学科：広島県)

**日** 本食研K.O宮殿工場見学

(現代食文化学科：愛媛県)

**お** 菓子の壽城 菓子製造見学

(栄養学科：鳥取県)

**人** 形浄瑠璃鑑賞・体験

(子ども教育学科：徳島県)

**廠** 島神社参拝

(短期大学音楽学科：広島県)



# 新年度を迎えて

理事長  
まつ だ ひで き  
松 田 英 毅

桜の花の咲くころにそれぞれの学校で入学式が終わりました。今年度もまた多くの希望に満ちた学生、生徒を迎え、殊に今年度は真新しい園舎に可愛い園児を迎えることができました。花の後はキャンパスの樹々が一斉に芽吹き、周囲の山も萌えるような新緑に包まれ、自然の恵みの中で、私たちも地球上の生き物として生きていくと同時に、大きな力に生かされていることを思わずにはおれません。

平成25年度のはじめに当り、学園の近況を報告いたします。

高校は文武両道の学校づくりを目指し進学に力を入れているところですが、国公立大へ14名、私大121名という成績をあげてくれました。スポーツではサッカー、柔道、ゴルフは全国レベルの選手が集まり厳しい練習を重ねて素晴らしい成績をあげてくれています。今春には、全日本の高校選抜サッカーチームを率いて本校の野村教諭が監督としてヨーロッパ遠征をし、日本チームを優勝に導くという輝かしい成績をあげました。

大学の音楽学部と音楽短期大学は毎年その年の優秀な新卒者の演奏会が行われています。今年の中四国新人演奏会は山口県防府市で行われました。勿論本学からも4名の者が出演をし、実力を十分に出し切った演奏を行いました。その演奏会では本学の新卒者の演奏は素晴らしく、観客の拍手はことのほか大きかったようです。中でもピアノの演奏は抜群で、演奏がすんだ後、他大学の外人教師が歩みより握手を求め讃辞を送る光景がみられたということです。

地方の音大はおしなべて学生減の傾向にあります。その一つの要因に、音楽は就職に直結しないという考えがあります。これを打破すべく、音楽を十分学び、楽しみ、そうして卒業時には音楽のプロの演奏家、あるいは教育者にならない者はすべて一流企業に100%就職できる、それを作陽の音楽の特色にしようと取り組んでいるところです。一般に音楽は就職に向かないとの説があるようですが、これは誤りだと思います。音楽を学んだ者は、忍耐強く持続性がある、礼儀正しくて明るく、協調性がある、それに何よりも感性が豊かである。これらの特性は企業が最も求めているところでありす。 “一流企業へ就職100%” を作陽の代名詞にすべく、その道のベテラン教授を配置し、学内の意識改革を行い、それを外へ広めようとしています。

食文化学部は例年により5月に管理栄養士の国家試験の結果が発表になりました。今年は合格率92.1%で全国123大学

中33位でしたが、本学の不合格者は全て57点台以上であり、あと数点で合格になるという惜しい成績でありました。いくつかの国公立大学よりも高い合格率であったことは、入学してからの学生の専門教育に対しての取り組みが真剣になされ、大きく成長した証しであると同時に、指導者の情熱と教育力の賜であると思われます。このことは本学全体の教育の手本となるものであり、菩薩道を歩むプロの養成を実現すべく、これからも手をぬかず100%合格率を目指して一層の精進を期待するものです。食文化学部では予防医学の方向に目を向けており、今年度より、本学の学生と教職員の健康維持増進を目的にヘルスケアレストランを始めました。

子ども教育学部は創設6年目を迎えました。人形劇を中心としたクラブ活動を行っている“ばれっと”は中四国の関係学部の中でも注目を集める活動をしており子ども教育学部の看板となっており、“ばれっと”の活動を通して、将来教員として必要な資質が培われています。時代は幼児教育あるいは小さい子どもの教育に注目しており、本学も一層力を入れて教育をせねばと考えています。また各大学とも学生の就職には力を入れており、本学も新たに学部長はじめ教員採用試験に豊富な経験を有する教授を招き、従来の採用試験と就職対策を格段に強力なものとし、今後5年位かけて県内でも優れた卒業生を多く輩出する大学にしたいと考えているところです。

現代は、便利で快適な生活を送れる高度に発達した社会になっていますが、一方では子ども教育には多くの問題が生じています。頭が良いだけではなく、何ごとにも情熱があり積極的な人が求められています。これからの時代ではこのような人材育成のために、菩薩道を歩むプロとしての本学の卒業生の使命は、大きなものがあると思われ、活躍が期待されると思われ。

今年度よりくらしき作陽大学附属幼稚園を開園しました。大学の校舎と似た園舎を大学キャンパス内に建て年小児28名が元気に遊んでいます。明るく、やさしく、逞しくをモットーに親子ともども御仏に見守られ、生かされていることに感謝できるような、そして将来、家庭のため、社会のため、さらには地球人類のために貢献できるような、そのような人物が一人でも多く育ってもらいたいと願っているところです。



附属幼稚園“キッズファーム”で  
モスクワ音楽院特別ヨース教員と園児による野菜苗植え

# 「作陽音大」の系譜

音楽学部長  
よしだ せい  
**吉田一成**



津山時代の作陽に13年間奉職した私は昨年、25年ぶりに作陽に帰還しました。その「いま浦島」が体感したのは「進化する作陽」でした。

品格の漂う構造物とその配置の妙。さざ波の涼やかな中庭の池。憩いを誘う木陰。国内外の音楽家が賞賛を惜まない音楽ホール「藤花楽堂」。気品漂う「聖徳殿」。行き交う学生の爽やかな笑顔と挨拶。早朝から音の絶えない練習棟。錬磨に裏打ちされた上質の演奏会——作陽は確かな発展と進化を続けていました。

私は、学是「念願は人格を決定す 継続は力なり」こそ「作陽」の精神だと考えています。帰還してから1年、私はこの精神を体現している多くの「作陽人」に出会いました。

春、津山の音大時代からの友人は教授陣の中核。彼は最近ときどき見るという「怖い夢」について聞かせてくれました。「レッスンの学生から『うまく吹けないので教えてください』と頼まれたフレーズが、どうもうまく吹けない、という『怖い夢』です。悪夢に怯えた彼は飛び起きて、明け方まで練習したとのこと。「どんな難曲でも、いつでもやってみせられるような先生（指導者）でありたい」という想いが彼の念願であり、そのための力を磨き続けてきたからこそ見た「怖い夢」であったのです。

初夏からのほぼ半年。毎週木曜日には美観地区の「倉敷館

コンサート」に通いました。その演奏者のひとり、流麗な音を燦めかせたヴァイオリニストはモスクワ音楽院のコース出身。ソリストを目指して研鑽を重ねていました。もうひとり、国際コンクールで受賞したピアノ専攻の4年生は毎日早朝からの練習棟通い。「留学して音楽を学ぶ」という目標を掲げ、より高い次元の音楽を掴もうとしていました。

秋には著名な交響楽団の定期演奏会を行脚して「作陽の卒業生」の多くと杯を交わしました。そのひとはコンサートマスター。ひとは中堅の演奏家。いずれも「いまだに練習がサボれんなあ」と顔を見合わせて笑いました。

年末の同窓会で飲み明かした卒業生のひとは今は某県の吹奏楽連盟の事務局長。吹奏楽コンクールの金賞常連校の指揮者の彼は、「若い頃の給料はほとんど楽器代に消えた」と笑いました。自分の専門ではない楽器を少しずつ買い揃えて初歩から練習したとのこと。「自分でやってみると生徒の苦労やつまずきがなんとなく分かる」とか。

そしてこの冬、今は消防士として活躍している卒業生に会いました。彼は「ひと月前、障害のある子どもたちの学校に招かれてソロを聴いてもらった」と微笑みました。

作陽の精神は確かに生きていることを教えてくれた人びとでした。

これら「作陽人」の系譜は、昭和38（1963）年、吉井川河畔の津山市八出（やいで）の丘に始まり、「音楽学部」設置を経て「作陽音楽大学」へと引き継がれました。以来、平成8（1996）年の倉敷キャンパス移転後を含めると、「作陽」を巣立った音楽人は7,000名余にのぼります。

そしてまもなく、この「作陽音大」の歩みは創立50年の道標を迎えようとしています。

平成25年度から、音楽学部は「モスクワ音楽院特別演奏」「演奏芸術」そして「教育文化」の3コースで新たな一歩を踏み出しました。いずれも「音楽を活かす」ことをモットーに「専門性」と「人間力」の醸成を目指したカリキュラムが走ります。全ての教員は「進路アドバイザー」の役割を担い、学生・教員・職員三者の協働活動を、一人ひとりの「念願」の実現に向けて、入学当初から卒業時まで「継続」することとしています。みなさまのご支援・ご協力をお願いいたします。つ、帰還・着任のご挨拶とさせていただきます。

## 目標への最短距離を見つけるスタディプラン

3コースによる4年間の教育フロー ～ 3つのコースと4つのプラン ～  
それぞれの適性を活かせる3つのコースと、目標をより明確にする4つのスタディプラン。



各専修で学ぶ学生一人ひとりが持つ目標へ、4つのスタディプランが確実に導きます。



# 食文化学部の更なる発展に向けて

食文化学部長  
やま した しず え  
**山下 静江**



食文化学部は平成25年度における新たな取り組みとして幼稚園給食とヘルスケアレストランを開始しました。幼稚園給食は、くらしき作陽大学附属幼稚園の開設に伴って「食文化学部の智の財産」を幼稚園と連携する取り組みです。本学部の教育の基本は「食」にありますので、生涯にわたって健康に過ごすことのできる食育の第一歩として給食を「生きた教材」としてとらえ、その上に保護者への食育も取り込もうとしたものです。1月から準備にかかり給食の基本方針、アレルギー対策、厨房の作業動線、厨房機器の点検、食器の購入など、何度も園と話し合い、無事4月に3歳児28名を迎え給食を開始することが出来ました。入園式では、やっとお母さんから離れることが出来るようになったかわい、緊張気味なお子さんを見ると何とか楽しい幼稚園生活を送ってほしいと願わずにはいられませんでした。

もう一つの新事業は「さくようヘルスケアレストラン」の開設です。栄養士・管理栄養士教育の到達目標として、食に関する総合マネジメントのできる人材養成がありますが、専門分野の教科及び臨地実習を3年までに行い、卒業前教育として経営学と給食管理学を統合させた科目としてヘルスケアマネジメント実習Ⅰ、Ⅱを開設しました。このレストランのコンセプトは、喫食者に対しては提供する食事を「生きた教材」として適正な食事のとり方を学ぶことにあります。「おいしく食べて健康になる」ために、食材の組み合わせを考え、食と命の関係、健康と病気と食事の関係などをテーマとして500g、500Kcal、500円を共通語として満足感のある食事を提供します。健康的な食事を提供するためには「おいしく感じる味覚」を養うことが大切です。学生は適正な栄養量（エネルギー、各栄養素バランス）、適正な価格と純益、心地よい食環境などについて実践することにより、専門職として社会への第一歩を踏み出す力をつけます。一方、3年生の栄養教育論実習の場としてヘルスチェック（体重、体脂肪チェック）と、主訴による栄養相談を行い、栄養相談カルテ

を作成し、対象者の健康チェックと栄養相談による動機付けから、意識・態度・行動変容を確認します。この授業の到達目標は「大学全体で予防医学に取り組む大学」となることにあります。食事はすべての人（動物）の「いのち」の源です。単に空腹を満たすことが目的ではなく毎日の食事が健康を積み重ねていくことを意識して「食べる」ことを考えてほしいと思います。「さくようヘルスケアレストラン」を大いに利用して大学全体から不健康な人が一人もいなくなることを願っています。そのことが、大学が「組織体」として元気であることにはかなりません。心身ともに健康であることがどんなに個人の力を十分に発揮してくれるか。私が、実際に行った栄養指導経験から生活習慣病の蔓延からくる医療費高騰について効果的な手法は肥満の改善（体脂肪率の改善）でした。すなわち食事と運動により肥満を改善することで、中性脂肪や血糖値が改善され健康保険組合の医療費を下げ黒字に転じさせた経験がありますが、その取り組みはまさにヘルスプロモーションの成果を取めたことになります。本大学においても、まず学生、教職員の健康管理を十分にできる組織体制を作り、健康社会の構築に取り組む食文化学部の姿勢を、学内外に可視化させることを教育の基本姿勢としていきたいと思っています。今後、学部全体で連携を深くし、さらに実践的な教育の場として発展させるつもりです。

最後になりましたが、本年も5月7日に第27回管理栄養士国家試験の合格発表がありました。本年は合格者58名、不合格者5名、合格率92.1%でした。全国平均89%で全国レベルでは123大学中33位でした。一人一人の4年間の軌跡をみると本当によく頑張ったと心からねぎらいたい気持ちになります。また新たな国試対策が始まっています。毎年のことではありますが一人の不合格者も出さないように教員と学生が丸となって最善の方策で取り組んでまいります。今後ともご支援をお願いいたします。

さくようヘルスケアレストラン



附属幼稚園での給食



# 子どものいいところ発見名人、 生きる力を伸ばすプロに！

子ども教育学部長  
たか はし か よ  
**高橋 香代**



くらしき作陽大学に平成20年4月設置した子ども教育学部は、今年で6年目を迎えました。本年度からは、子ども教育学科に小学校・特別支援学校コースと保育園・幼稚園コースの2コースを設けて、それぞれのコースにふさわしいカリキュラムを構成しています。また同時に念願の大学附属幼稚園も設置されて、子ども教育学部を充実させる環境が整ってきました。

2コース制と附属幼稚園がスタートして、子ども教育学部がステップアップした本年4月に、私は学部長として着任させていただきました。

緑に囲まれた瀟洒な校舎が素敵なキャンパスでは、ときおり音楽学部からのピアノの音や歌声が流れてきて気持ちがなごみます。歩いていると、「おはようございます」「こんにちは」と学生たちから声がかかります。教材づくりの授業でしょうか、中庭を利用して、学生たちが絵具を手に、大きく新聞紙を拡げて力作を作っています。教員採用試験のための自主学習室をのぞくと、集まった4年生が、真剣な表情で勉強しています。夕方になると児童文化部「ぱれっと」の人形劇

の練習もにぎやかにはじまり、雰囲気の良い大学に着任してよかったなと感じました。

子ども教育学部では、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭の養成を行ってきました。乳幼児から児童期にかけての重要な教育を担うこれらの人材に、最も必要とされることは温かな人間性と豊かな心だと思います。

子ども教育学部では、特別支援教育に力を入れています。それは単に専門的な知識と技術を身に付けるということだけではありません。実際に学習指導やキャンプに参加するなどの様々な体験学習を通して、子どもたちと直接触れ合い、子どもたちの気持ちを実感することを大切にして教育をしています。そのことが、人としての感性を磨いて、特別な支援というのではなく、それぞれの子どもたちに応じた当たり前の支援につながってほしいと願うからです。

また、児童文化部「ぱれっと」の活動では、保育所・幼稚園・小学校・児童館・公民館などに出かけて、子どもたちに直接、人形劇やパネルシアター、絵本の読み聞かせや歌遊びの公演を行っています。仲間と一緒に練習や準備に励むことで、子どもたちの笑顔に出会うことができた喜びの積み重ねが、学生たちに人としての成長を促してくれています。

本年度、子ども教育学部は「子どものいいところ発見名人、生きる力を伸ばすプロに」をキャッチコピーとしました。一人ひとりに個性があり、発達段階も養育環境も違う子どもたちの、それぞれのいいところを発見することのできる豊かな感性をもった教員に育ってほしい、そのいいところを手掛かりに、子どもたちの生きる力を伸ばすことのできる専門家に成長してほしいという願いを言葉にしました。

設置して6年の子ども教育学部はまだまだ発展途上にありますが、くらしき作陽大学の「念願は人格を決定す 継続は力なり」という学是を胸に、学生とともに、教職員が一体となって着実に成長したいと思っています。皆様の一層のご支援ご協力をお願いして、着任のご挨拶とさせていただきます。

## 平成25年4月 子ども教育学科に2つのコースが誕生！

小学校教諭、特別支援学校教諭を目指す方へ  
**小学校・特別支援学校コース**  
定員：30名



基礎力、実践力、音楽力を兼ね備えた教育のスペシャリストを養成。

保育士、幼稚園教諭を目指す方へ  
**保育園・幼稚園コース**  
定員：80名



実践的な学びを大切にしたカリキュラムで、幼児教育のスペシャリストを養成。



# 地域音楽文化への貢献を目指し 新たな領域を拡充した大学院音楽研究科

大学院  
音楽研究科長  
たけうち きょうこ  
**竹内 京子**



本学大学院音楽研究科は、設置されて四年目を迎えました。本年も二月に、学位審査を兼ねた修了演奏会が行なわれ、6名の音楽家を送り出すことができました。リサイタルに相当する70～80分に及ぶ演奏の間、途切れることなく聴衆を魅了し続け、ご来場の音楽愛好家の皆様から多くのお褒めの言葉をいただきました。サマーコンサートやハーフリサイタル

等をはじめ、多様な演奏機会において皆さまにご声援をいただき、励まされながら、演奏力を培ってまいりました成果と感謝しております。中には、修了演奏の素晴らしさに心を打たれた方から、数ヵ月後のコンサートのオファーを頂戴した修了生もあり、支えてくださった共演者や研究指導教授も感激ひとしおでした。

前々号でご案内いたしましたとおり、今年度は、今までの器楽・声楽・作曲領域を『演奏芸術領域』として括り、さらに、『教育文化領域』『音楽文化領域』を新設いたしました。音楽学部音楽学科に、『演奏芸術コース』と『教育文化コース』が誕生することに合わせた、領域の再編であると同時に、地域の音楽文化振興に貢献する音楽家の育成を目指す本大学院音楽研究科の取り組みのさらなる充実を図るものであります。『演奏芸術領域』と『音楽文化領域』に入学した7名の新入生は、早速、高度な研究計画を組み立て、意欲的な研究に取り掛かっております。

前期の催しと致しましては、8月5日(月)13:30より、3号館聖徳殿におきまして、大学院生有志によります『大学院サマーコンサート』を開催いたしますので、お誘いあわせの上、ぜひご来場たまわりますよう、お願い申し上げます。

## 卒業後の進路について

作陽音楽短期大学  
音楽学科長  
たん だい しげる  
**丹代 茂**



短期大学では、今年度55名の新入生を迎えることができました。

入学したばかりなのに、卒業後の話をするのは奇妙に思うかもしれませんが、短期大学は、あっという間に2年間で

過ぎてしまいます。音大生は毎日自分の主科目の勉強に必死になっていて、就職についてはほとんど考えていないと思います。毎年卒業まじかになってから慌てて就活をするのがとても多く、その時点ですでに遅く、いわゆるバイトで1年間をつなげるしかないようなことになってしまいがちです。「何とかなるさー。」では、今の時代何ともなりません。そこで、短大としては、入学してすぐの学外オリエンテーションの機会に、「就職とは！」と題して毎年講義をしてもらうことにしています。今年も行程の関係で短い時間しか取ることができませんでしたが、就職に対する心構えについて、堀内教授にお話をしていただき、みんな真剣な面持ちで話を聞き、メモをとっていました。本学では卒業後の就職100パーセントを目指しています。そのためには、本人自身が早いうちに、就職に対しての意識を持つことが最も大切なこととなってきます。もちろん卒業後は学3編入等の進学の道もありさまざまですが、これからは皆様方のご理解をいただきながら、卒業後の進路に対して不安を抱えることのないよう努力していきたいと思っております。

### 作陽音楽短期大学 公開講座のお知らせ

#### 「ツェルニーの魅力と楽しみ方」 講師：居川 寛子 講師



居川 寛子 講師

今までにピアノを習ってきた方や現在習っている方も、ツェルニーという教材に触れる機会が多いのではないのでしょうか。一般的に、練習する過程で楽しみを見出す事が少ないと思われがちですが、改めてじっくり観察(?)すると、実に奥深く、練習方法も違う角度から楽しくアプローチできる魅力があります。弾いてみる楽しみ、以前は苦手だった部分を再確認、新たな発見！など、ツェルニーの魅力を演奏しながら、一緒に触れてみてはいかがでしょうか。

※当日はツェルニーの楽譜をご持参ください。  
(主に30番40番を使用予定。どの出版社の楽譜でも可)

♪開講日 第1回 8月3日(土) 10:00～12:00  
第2回 8月24日(土) 10:00～12:00  
♪受講料 2,000円 (どちらか1回のみの場合は、1,000円)

#### 「ショパンの中のベルカント」 講師：重利和徳 助教



重利 和徳 助教

ピアノの詩人といわれているショパンが、無類に好きだったオペラ。では、実際彼はどのような影響を受けたのか？オペラと言ってもショパンが聞いていたのはどのオペラだったのか？ショパンのどの部分にその特徴が見られるのか？

実際の映像や資料、また演奏を通して、より自然に、より魅力的に「歌うショパン」を目指します。

歌うことの大切さは分かっているけど、歌い方やポイントが分からない方も是非受講してみてください。アドバイスレッスンもしますので、ショパン限定ですが、好きな曲の楽譜を各自ご持参ください。

♪開講日 第1回 8月3日(土) 10:00～12:00  
第2回 8月24日(土) 10:00～12:00  
♪受講料 2,000円 (どちらか1回のみの場合は、1,000円)

## ワンランク上の充実感と満足度

地域に愛され、卒業生の皆様に愛され、作陽高校は、永久に輝きつづけます



岡山県作陽高等学校

★「智慧の教育」実践校★

文武両道を具現化し、4年連続進路保障100%を達成！

### 校長

## 『夢を叶える教育を目指して』

校長 松野 英雄



本校は、昭和5年の創立以来、「念願は人格を決定す 継続は力なり」の校訓のもとに、「人間力の育成に力を入れて、生徒一人ひとりの夢を叶える教育」に取り組んでいます。

昨年度、「進学」では、横浜国大（経営学部）、岡山大学（工学部）など国公立大学14名をはじめ関西圏の同志社、関西学院、関東圏の早稲田、明治など私立難関大学へ多数の生徒が合格しました。「就職」では、岡山県警察官や日本植生園などに就職し、4年連続で進学・就職ともに100%進路が決定しています。

「スポーツ」では、インターハイでの柔道部・男子の6年連続ベスト8以上の実績をはじめ、新年の高校選手権でサッカー部・男子のベスト8への進出（8年連続21回目の出場）、サッカー部・女子の5年連続5回目となる高校選手権への出場、ゴルフ部・女子の高校選手権での団体5位など実力を十分に発揮し、全国に「作陽」の名を広めてくれました。また、伝統の「音楽」では、全日本吹奏楽コンクール岡山県大会において通算9回目となる金賞の獲得をはじめ、全日本ジュニア管打楽器コンクールのソロ部門トランペットで金賞を受賞するなど、素晴らしい成果を収めています。その他にも、野球部やバスケットボール部、演劇部なども意欲的な活動を続けています。

今後とも、学園の一員である作陽高校が文武両面において素晴らしい成果を上げることができるよう、勉強に部活動に、夢の実現に向けて頑張っている生徒と師弟同行の歩みを続けてまいりますので、ご支援とご協力をお願いいたします。

### 参事

## 『作陽元気ハイスクール』

参事 山下 亨



美作国建国1300年の津山。生徒と教師の熱血的「絆」が織りなす元気ハイスクールの作陽高校。この高校からの眺めは美作国のどこの学校にも負けませんね。高台の旧音大噴水前で吹奏楽部員の吹くトランペットの音が鶴山城跡と眼下の津山市街に響きわたります。

さて、朝。銀座線並みに混む通学列車「NARUTO」。車内は運動着のカバン、教科書・参考書をびっしり詰めたカバンを肩にかけた津山6高校の生徒で満杯。終着津山に近い駅では車内はぎゅうぎゅう詰めに乗ることすら難しい状態です。始発に近い駅で乗車する作陽高校生は参考書を読みドリル勉強をしています。校門ではウグイス、キジ、カラスの鳴き声が通学生を迎え、女子サッカー部やゴルフ部の朝練に行く生徒たちがすれ違います。

昼。葉桜の時季には、昼食をすませた男女サッカー部員が応援練習を始めます。6年前に国立競技場で聞いたあの応援歌一。「燃えろ燃えろ 作陽！」「ヴィバヴィバ 作陽学園！」「おれらの作陽 誇り持ち歌い 熱く燃やせ みどりの戦士 ～熱く燃やせ みどりのハート」。「作陽作陽 今日試合を勝ってくれ みんなの願いは日本一」（桃太郎の替え歌）。女子応援団の歌う「作陽高校 夢の国～」はチェリッシュの「てんと虫のサンバ」の替え歌です。はちきれんばかりの青春の応援歌の合唱。吉井川沿いのコンビニや今津屋橋のあたりでも聞こえますから、さながら津山の昼の風物詩です。

放課後。校内が静まる頃、自習室や補習室に明かりが灯り、大阪大、筑波大、横浜国大、早稲田大など合格した先輩たちに続けと進学組の補習タイムが始まります。

作陽高校生は、24時間・365日元気です。

### 教頭

## 『作陽高校の教育力』

教頭 神田 寿則



本年度より、教頭兼教務部長に就任しました神田です。皆様方大変お世話になることが多々あると思いますがよろしくお願い申し上げます。本校は創立以来大乗仏教の教えを元に人間力の育成に力を注ぎました。その結果、本年度入学者223名の内194名が専願受験生であり、このことは如何に中学生や保護者の方々から作陽高校が信頼されているかを物語っています。これも在校生、卒業生が部活と学力面でたゆまぬ努力の結果、毎年このような成果を出していること。熱心な指導者が身を粉にして指導に励んでいること。また、保護者のみなさま方のご理解と励ましの御蔭があってこそと感謝いたしています。何事も一夜にして結果を出すことはできませんが、本校の校訓『念願は人格を決定す、継続は力なり』を生徒一人ひとりが実践している結果であると確信しています。作陽高校では、ただ卒業するだけではなく、卒業してよかった学校、卒業後も心の支えになるようにと報恩の日等の学校行事を通して生徒の人間力を養ってきました。何事に対してもやらされるのではなく、自らが目的を持って感謝と奉仕の心を実践できるよう、今後とも努力していく所存です。そのためには私たち教職員も自己研鑽を積み、自利利他の精神で指導に努めるとともに、今後より一層、生徒、保護者、学校が信頼の絆を強めながら誇りに思える作陽高校を目指し、邁進する所存です。今後ともご支援のほどよろしくお願い致します。

### 事務長

## 『作陽高校のR&Vを探す』

事務長 高井 保昌



本年4月から本校の事務長を拝命しました高井保昌と申します。3月末で約40年間勤務しました岡山県教育委員会事務局職員を退職して、第二の人生を歩み始めたところです。真庭市（旧久世町）在住で、津山市内での勤務は津山教育事務所以来14年振りとなります。

さて、近年、本県教育界が抱える課題が明らかになり、県教委では次の3つの事項を柱に掲げ、様々な施策を展開しています。課題を列挙しますと、昨年度の全国学力学習状況調査結果に見る学力の定着化問題、次に、不登校児童生徒数増や問題行動の発生数増など生徒指導上の課題、最後に、少子化の中、特別支援学校を希望する児童生徒が急増していることと、小・中・高等学校における発達障害児童生徒への教育的支援・援助の方法など特別支援教育に関するものです。

これら3つの課題は、各学校でまちまちですが、共通の解決手段として「学校組織マネジメント」を用いることが脚光を浴びるようになってきました。ここでは、その根幹となるPDCAサイクルの話は後述することとし、その前提となるR（research）& V（vision）について「三国志」を引用しお話ししたいと思います。かつて、一武将にすぎない劉備玄德は、三顧の礼を持って諸葛亮孔明を迎えます。その際に、劉備は孔明に「今、我が軍に足りないものは何か。」と問います。孔明は「劉備軍は戦術があっても戦略がない。」と答えます。つまり孔明は「関羽、張飛の優れた武将がいて局地戦では無敵ですが、国の現況を分析（research）した上での戦略（vision）がないと、如何な劉備軍といえどもいずれ滅びますよ。」と説きます。まずは、私もこの教えに習い作陽高校のR&Vを探すことから始め、PDCAサイクルへ繋げていきたいと思っておりますので、御指導、御鞭撻の程よろしくお願い致します。



## 1年生

## 『1学年の運営方針』

1学年主任 釈野 昌稔



新入生宿泊研修

本年223名の新生を迎え、新年度をスタートさせました。親元を離れ寮生活を始めた生徒もあり、学校生活に慣れるのも大変なことと思います。徐々にですがクラス内が和やかな雰囲気となり、友達の輪も広がってきているように見えます。これから生徒たちには3年後の進路を見据えながら、自分に誇りが持てるよう日々努力してほしいと考えています。授業、部活動、学校行事等を通して様々なことを学び、自分が社会に出た時に困らないようしっかり準備をしていく3年間を過ごすことが大切です。生徒たちには規則正しい生活を送り、生かされていることへの感謝の気持ちを忘れず夢や目標に向かって継続して頑張るという強い精神力を身につけさせたいと思います。そのために私たち1学年教員は生徒の思いに寄り添いながら、根気強く指導していきます。

## 2年生

## 『2学年の運営方針』

2学年主任 戸田 陽一



サンタフエ来校

今年度2学年は230名でスタートしました。入学したときと比べると、1年経ってそれぞれ成長した様子が伺えます。2年生は学校行事や部活動の中核として大いに力を発揮できる学年です。そのためにはしっかりした目標設定と、日々の努力を惜しまぬ姿勢が大切です。先日、あるテレビ番組で、東日本大震災で被災した高校生が、「震災によって、突然でなくなることもあるのだとわかって、後悔しない生き方をしたいと思うようになりました。」と言っていました。後悔しないためには一日一日を大事に生きることだと思いますが、作陽高校の2学年の生徒にとっては毎日の授業や部活動、清陵祭・修学旅行などの学校行事を精一杯取り組むことだと思います。この1年間が生徒にとって充実した1年になるよう私たち教員も頑張ろうと思います。

## 3年生

## 『3学年の運営方針』

3学年主任 松本 賢治



進学説明会

いよいよ最終学年となりました。日々の学校生活の中で実践目標である「挨拶」、「掃除」、「合掌」を通して、感謝の心と奉仕の精神を基に、学校行事や部活動では責任感、規範意識、自己のあり方について学び、豊かな人間形成を目的として指導を行ってきました。

今年度は最上級生として、学校行事や部活動でリーダーシップを発揮し、仲間と協力をして成功へ導けるように努力を重ね、悔いのない学校生活を送ってほしいと思います。

進路決定においては、単なる目先の指導だけでなく生徒の興味・適性を考え将来を見据えた進路決定ができるように、客観的で幅広い情報の提供と学力、特に文章表現力、マナー力の向上に努めていきたいと考えています。そして、一人一人に応じたきめ細かい進路指導が行えるよう3年団教員一同全力を尽くしていきます。

Pick-up Topics

## 学校自慢

作陽3年間の成果 4年連続進路保障100%を達成〔進学約88%・就職約12%〕  
平成25年3月卒業生の『進学』の力『就職』の力『スポーツ』の力『部活動』の力『音楽』の力

## 国公立合格者 14名

横浜国立大学(経営学部)  
大阪教育大学(教育学部)  
大阪教育大学(教養学部)  
岡山大学(工学部)  
鳥取大学(農学部)  
鳥取大学(地域学部)  
高知大学(人文学部)  
尾道市立大学(経済情報学部)  
島根県立大学(短期大学部)  
防衛大学校 ほか

## 私立合格者 144名

西日本圏  
同志社大学 関西学院大学 関西大学 京都産業大学  
近畿大学 甲南大学 龍谷大学 佛教大学など 計73名  
東日本圏  
早稲田大学 明治大学 青山学院大学 東洋大学 駒澤大学  
日本大学 専修大学 大東文化大学など 計31名  
岡山県内  
くらしき作陽大学 ノートルダム清心女子大学  
岡山理科大学 就実大学 倉敷芸術科学大学 環太平洋大学  
吉備国際大学 岡山商科大学など 計23名

## 専門学校33名全員合格

旭川荘厚生専門学校  
朝日医療専門学校  
神戸医療福祉専門学校 ほか

## 就職28名全員内定

岡山県警  
自衛隊  
NEXCO西日本 ほか

## 部活動の主な実績等(運動部・文化部)

## 柔 道 部

全国高校総体出場(10年連続27回目) H23全国高校総体準優勝(県勢初)  
(H23 津山市スポーツ栄誉賞受賞)

## サッカー部男子

全国高校選手権ベスト8(8年連続21回目出場) 全国優秀選手3名選出  
(H18全国準優勝:津山市スポーツ栄誉賞受賞)

## サッカー部女子

全国高校女子選手権出場(5年連続5回目) 全日本女子選手権4回出場  
(H18 津山市スポーツ栄誉賞受賞)

## ゴ ル フ 部

H23国体少年男子の部優勝(県勢初) 全国大会団体女子5位

## 硬式野球部

春季・秋季岡山県大会ベスト16 H23夏の県大会3位

## バスケットボール部男子

岡山県総体3年連続ベスト8 4年連続美術総体優勝

## バスケットボール部女子

現在、岡山県北を中心に、女子部員強化中

## 吹 奏 楽 部

岡山県吹奏楽コンクール9回金賞受賞 全日本ジュニア管打楽器コンクール ソロ部門:トランペット 金賞

## 演 劇 部

第36回岡山県総合文化祭第3位 岡山県北代表校

先輩方のように  
私も作陽で夢を  
叶えます



## ■新任教員のご紹介（大学・短期大学・附属幼稚園）

### 池辺晋一郎氏 音楽最高顧問に就任。

オペラ、オーケストラ、バレエ音楽、室内楽、合唱など多彩な作品を手がけられ、日本屈指の現代作曲家と評されている池辺音楽最高顧問をお迎えすることで、本学音楽教育のさらなる充実、発展が期待されます。



#### 池辺晋一郎 プロフィール

##### 〔受賞歴〕

1974, 1982, 1983, 1984 年 文化庁芸術祭優秀賞  
1976, 1977, 1989 年 イタリア放送協会賞  
1985, 1991, 2010 年 日本アカデミー賞最優秀音楽賞  
1989 年 国際エミー賞  
1991, 1999 年 尾高賞  
1997 年 NHK 音楽祭有馬賞  
2002 年 放送文化賞  
2004 年 紫綬褒章

##### 〔主要作品〕

＜オペラ＞ 死神 檀山節考  
うなぎ  
影武者  
瀬戸内少年野球団  
＜テレビ・ラジオ＞  
八代將軍吉宗  
元禄繚乱  
チェロ協奏曲



#### 音楽学部 専任教授 堀内 好 浩

念ずれば 花ひらき、行すれば 実 は 熟れる。人生設計やキャリア教育の為に作陽学園に参りました。



#### 音楽学部 専任講師 ティモシー・カーター

音楽の力は人間に感動をもたらす事が出来ます！ クラリネットと音楽の勉強を通して、あなたの音楽とポテンシャルを見つけましょう！



#### 食文化学部 専任准教授 長谷川 祐 子

応用栄養学、スポーツ栄養学を担当いたします。入学したばかりの皆さんが4年後には社会を元気にする栄養士に育つ、その手助けができればと思います。



#### 子ども教育学部 専任教授 松原 泰 通

行政と校長の経験を活かし、実践力のある教員養成に取り組みます。教採合格し、素晴らしい教職人生を実現されますように全力を尽くしていきたいと思っています。



#### 子ども教育学部 専任講師 馬場 訓 子

「明るく元気に」をモットーに、保育者を目指す皆さんの明るい未来のために、幼稚園教諭の経験を生かし、保育実践に自信が持てるよう応援します。



#### 幼稚園教諭 森 安 みどり

ぴかぴかの園舎と自然いっぱいの園庭。一期生の子どもたちと、わくわくドキドキ！ 公立幼稚園での経験を生かし、楽しい保育を展開したいと思います。



#### 音楽学部 専任准教授 長瀬 敏 和

新たに専任准教授となりました、サクソフォンの長瀬です。大阪市音楽団という吹奏楽最前線で30年、そこで培ったすべてを作陽に注ぎ込みます。



#### 食文化学部 准教授 星島 し げ 子

よき友、よき師、よき仲間との出逢い（ご縁）に感謝し、大事にしていきたいと思います。そして、生徒の人生（生活）にかかわる教師になる夢を叶えましょう。



#### 食文化学部 専任准教授 福元 隆 浩

解剖学や生理学って面白そう！ って感じてくれる人が1人でも増えてくれるよう、皆さんと一緒に笑顔で大学を楽しみたいと思います。



#### 子ども教育学部 専任准教授 井山 房 子

幼稚園の教育実践から、共に育ち合う「共有」の大切さを実感しています。主体的に学ぶ学生の皆さんと、共に育ち合えることを楽しみにしています。



#### 幼稚園教諭 大澤 珠 生

かわいい小さな子供達に囲まれて毎日楽しく遊んでいます。大人とは違った目線で見つけてくる発見や感動・驚きを共感できることに喜びを感じています。



#### 幼稚園教諭 平松 朋 子

大学生からピカピカ1年生の幼稚園教諭に心機一転。自分の夢である子どもに教えるびあえる幼稚園の先生になれるように日々努力していきたいと思っています。

## ■新任教員のご紹介（高校）



#### 英語 平井 秀 明

勝山高校、津山高校（副校長）を経て、今年度より作陽高校でお世話になります。作陽の生徒は、挨拶もよくできるし、毎日の自主的な掃除等、基本的生活態度が素晴らしく感心しています。

■参 与  
■理 科  
■国 語

中山 勇  
前 研治  
福元 政司

■国 語 遠山 光子  
■情 報 尾川 将

よろしくお願いいたします。

## ■退職・退任された教員のご紹介（大学・高校）

### 大学

音楽学部  
音楽学部  
音楽学部  
音楽学部  
音楽学部  
音楽学部  
音楽学部  
食文化学部  
食文化学部  
食文化学部  
食文化学部

芦田 修次  
岩崎 範夫  
藤村 佑子  
林原 郁雄  
志賀 保隆  
中桐 實  
中島 尚子  
金行 孝雄  
鈴木 和彦  
木村万里子  
諸岡 浩子

### 食文化学部

子ども教育学部  
子ども教育学部  
子ども教育学部  
子ども教育学部

### 高校

副校長  
国語  
英語  
理科  
音楽

内海亜希子  
山野井敦徳  
渡邊 照美  
川村 高弘  
原子 純

塩浦 六丸  
山田 洋子  
岩本 直子  
景行 良一  
田中 晴香

大変お世話になりました。



# 明るく やさしく たくましく 豊かでしなやかな心を育てる幼稚園へ

くらしき作陽大学  
附属幼稚園  
副園長  
妹島 三 絵



平成25年4月1日、くらしき作陽大学附属幼稚園が開園いたしました。

この度、附属幼稚園副園長に就任いたしました妹島でございます。未熟者ではございますが、本園発展のために真摯に誠実に努力して参る所存でございます。ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、去る4月5日、門前の桜が満開の中、不安や希望、様々な想いを胸に保護者の方々に手を引かれ、第1期生となる3歳児28名の可愛い園児たちが入園してまいりました。作陽大学音楽学部専任教授と学生による弦楽四重奏の歓迎演奏に真剣に耳を傾け、キラキラ瞳を輝かせる園児たちは本当に愛しく、これから始まる園児たちとの有意義で素敵な日々、私の胸は高鳴りました。

お父様、お母様の手を離れ、初めて一人で教室に入ってくる可愛い園児たち。最初は不安で胸がいっぱいで、目に涙のため、中には号泣してしまう子も。しかし、子どもたちは日を追うごとに成長し、今では「おはようございます!」と、とびきりの笑顔で登園してくれるようになりました。

本園では「明るく やさしく たくましく」、いつでも明るく思いやりのあるたくましい子どもに育つように、み仏の

教えのもとに教育してまいります。まず、基本的習慣として、「挨拶 掃除 合掌」が出来るように指導しております。毎日、朝の会でお仏壇の幸せ観音様に手を合わせ、朝のご挨拶をいたします。合掌をするその小さな手はとても可愛らしく、見ていだけで心が温かくなります。そして、周囲への感謝の気持ち「ありがとう」や「ごめんなさい」が言える素直な心を培ってまいります。

また、附属幼稚園ならではの特色として、大学の音楽・食文化・子ども教育の3つの教育資源を活かし、それぞれの学部の学生や教員と様々な形で関わってまいります。大学との連携により、音楽、食育、幼稚園実習など、幅広くレベルの高い独自の豊かな幼稚園教育を展開し、課外活動では、5月から語学教室（キッズイングリッシュ）を開講し、6月からは音楽（森の音楽教室）を開講いたします。より一層、友達と楽しく学ぶことが出来ます。

昨今、人間関係が希薄になり、便利な一方で不安や孤独で心の闇を抱え、社会に適応できない若者が増えていると言われる現代社会。そのような社会で子育てをし、子どもの将来を案じていらっしゃる保護者の方も多いのではないのでしょうか。本園では、そのような社会を明るく健全に生き抜いていくために、幼児期から大乘仏教の教えをもとに生かされていることの有難さを知り、健康な体とたくましい心を育てることが大切であると考えております。

園訓「念願は人格を決定す 継続は力なり」を胸に、子どもたちが将来立派な人格の花を咲かせることが出来るよう、日々念じながら、夢は清く、望みは高く、園児たちと共に成長していきたいと思っております。

また、子育てを頑張っている方々の情報交換や寄り合いの場として、子育て支援センターも開設しておりますので、お気軽にご利用ください。

地域の方々に愛される幼稚園を目指し、可愛い子どもたちの幸せのため精一杯努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



地域子育て支援拠点（倉敷市委託事業）

くらしき作陽大学 さくよう森の広場

## どんぐりっこ

さくよう森の広場『どんぐりっこ』は、親子がゆっくり安心して過ごすことができ、親と親、子と子をつなぐ交流の場です。保護者と子どもがふれあいながら一緒に遊び、共に育つことを大切にしています。

■開催日時

毎週 月・木・金曜日 10:00～15:00（祝祭日はお休みです）

■内容

- ・親子の遊び場・親同士の交流・情報交換
- ・育児相談・育児講座など

くらしき作陽大学  
附属幼稚園内に  
開設

## 入試

## 学生募集について

アドミッションセンター・入試広報室

子ども教育学部が新たに加わり3学部体制となって時間が経過し、特に過去3年間の実績は県内外において高校からの本学への評価も定まっていることを示している。ここに一つのデータを紹介したい。

| 年     | 2003 | 2006 | 2009 | 2012 | 2015 | 2018 |         |
|-------|------|------|------|------|------|------|---------|
| 18歳人口 | 146  | 133  | 121  | 119  | 120  | 118  | (単位：万人) |
| 進学率※  | 49   | 52   | 56   | 56   | /    | /    | (単位：%)  |

※ 大学・短大進学率（過年度卒含む）

(学校基本調査より)

18歳人口は1992年の205万人をピークに減り続けてきたが、最近10年でみると、ほぼ横ばいで、2020年から減少していく。一方、大学・短大への進学率は年々上昇してきたが、2010年から 56.8% ⇒ 56.7% ⇒ 56.2% と頭打ちの状況である。

本学への評価が定まっているとはいえ、やっと認知された段階であり、現状に甘んじていたのでは、目前に迫る18歳人口の減少期には対応できない。加えて大学・短大への進学率もこれからの動向が気になるところである。

ここで、岡山県の高校教育の動向について二つのことを紹介したい。

一つは本年度から全面実施になった新学習指導要領の中で職場体験活動やボランティア活動などの豊かな体験を通して、生徒の内面に根ざした道徳性の育成を図るよう求められていることである。全国で体験活動を重視するようになるなかで、岡山県は地域や企業等との連携による体験活動の充実を図るため、すべての高校において生徒が卒業までに1週間以上の社会貢献活動やインターンシップを行うことを求めている。

もう一つは現在、岡山県では子どもの学習意欲の低下や基本的生活習慣の乱れ、体験活動の不足、コミュニケーション能力の低下など多くの課題が指摘され、学校、家庭、地域の連携強化が叫ばれている。これまでもそうした連携はあったものの、義務教育に比べると、高校は進学や資格取得に向けた時間確保が優先され、通学範囲が広域に及ぶこともあり、そうした連携への取組が難しい面があった。しかし、様々な課題に取り組むため、昨年度から学校側の組織的な体制整備としてすべての公立小・中学校、県立学校に地域への窓口として「地域連携担当」を校務分掌に位置づけてその推進に努

めている。

本学においては、高大連携はもちろんのこと、多岐にわたる数多くの地域との連携をこれまで長年にわたって実施し、実績を積み上げてきた。今後、「地域連携担当」が各高校に置かれ、3年間で必ず社会貢献やインターンシップを生徒が体験する機会があることは高大連携の活性化や多様な企画を通して内容の更なる充実に寄与するであろう。

さて、本学の本年度入試を学部別に振り返ると、まず音楽学部では定員変更を行うとともに、教育内容の充実や講習会等の参加者への積極的なアプローチも進めたが、短大とともに厳しい状況が続いている。演奏会をはじめ種々の情報を発信することでPRに努めているが、目にみえる成果には至っていない。きめ細かい指導の徹底をととして学生の満足度を高めるとともに出口保障をすること、さらには事務局・参与の広報・募集活動はもとより先生方や同窓会のネットワークを通じての募集活動を継続する必要がある。食文化学部については現代食文化学科で厳しい状況があるが、栄養学科とともに作陽の食文化学部として、一定の評価を受けつつある。学科改組をして定員を確保した子ども教育学部も同様であるが、それぞれの学科、コースが受験生にとって、よりわかりやすく魅力のあるものにしていく不斷の努力が望まれる。

「学生がスポークスマン」という視点に立ち、しっかりとした教育・研究の実践を通して、豊かな人間性を養うとともに、出口の保障をすることで魅力のあるそして信頼される大学となるよう、教職員が一体となって、それぞれの立場で役割を果たしていきたいものである。

## 同窓生の皆様へ

## 入学優遇制度のご案内

平成21年4月より、同窓生のお子様が本学に入学する場合、次のような優遇制度が設けられました。

## 入学優遇制度

本大学・短大の卒業生のお子様が本学に入学した場合、入学後、入学金相当額を給付いたします。

(音楽学部：350,000円 [教育文化コース：250,000円] 食文化学部・子ども教育学部：250,000円  
短期大学：300,000円)



## 鶴声会だより

### 鶴声会近況報告

鶴声会会長 井端 豊実



毎回大変好評をいただいています、会報誌鶴の声もVol.5となりましたが間もなく完成いたします。今回も趣向を凝らした内容で一期生から今年度卒業された方まで興味を持ってお読みいただける内容になっています。作陽知っ得情報では4月に開設されたくらしき作陽大学附属幼稚園、食文化学部で展開されている「さくようヘルスケアレストラン」などをご紹介します。

毎年同窓会と高知県支部と吹奏楽連盟がタイアップして実施している吹奏楽楽器別クリニックも参加者から大きな反響をいただきました。初心者のお気持ちを大切に心がけて実施しました。今後もいろいろな地域での支援活動も計画しています。

地域での支部活動も盛んに行われ、鹿児島県や高知県では支部主催による演奏会を毎年実施しています。また5月には関西支部、11月には愛媛県支部の総会が行われます。また島県支部や沖縄県支部でも総会の準備が行われているので、皆様の地域におかれましても積極的にご参加いただけますようお願いいたします。

## 翠会だより

平成25年度 作陽短期大学・作陽音楽短期大学同窓会総会並びに懇親会開催

翠会会長 石原 昌子



翠会会員の皆様方におかれましては、日頃より多大なるご支援とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて今年は翠会総会開催年となっております、下記の通り、平成25年11月9日(土)11:00より、「メルパルクOKAYAMA」にて開催することになりました。会員の皆様へは、8月下旬にご案内を差し上げる予定ですので、多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

なお、前回は総会・懇親会の際に、同期会を開催したい

とのお問い合わせを多数いただきました。引き続き翠会では、このような同期会などへの助成を行っていますので、是非この機会をご活用いただき、有意義な時間としていただければと思います。

平成25年度「翠会総会並びに懇親会」

日時 平成25年11月9日(土)

11:00~15:00

場所 メルパルクOKAYAMA (岡山市北区桑田町1-13)

会費 5,000円



## 作陽高校同窓会だより

### 男女共学50周年記念植樹

高校同窓会副会長 山下 亨

団塊の世代が高校進学期を迎えた昭和30年代後半、松田藤子校長先生は作陽女子高等学校専攻科を廃止し男女共学制の導入を検討しておられました。新校舎や女子寮の建設、グラウンドの拡張などの課題を解決しつつ、昭和38年4月松田校長は岡山県作陽高等学校を開設し男女共学を実施。兵庫県や鳥取県などの県境地域からの入学者も加え2千名弱の男女生徒が学ぶ高校がスタートしました。

あれから50年……。平成25年4月に岡山県作陽高等学校が男女共学50周年を迎えました。同窓会は共学一期生の玉置俊作会長を中心に「50周年記念を何か考えよう」と検討を重ねました。一方、校門には女子高時代に植えられ60年以上風雪に耐えてきた桜んぼの木が夏の日照りで枯れてしまいましたので、後継樹として桜(ソメイヨシノ)の木の植樹を決定しました。他方、昨春逝去された昭和21年卒業(津山女子高

等技芸学校)の岩橋俊子さん(芦屋市)が生前「作陽で学んだ御蔭で今の私がある。母校の同窓会に寄付をしたい」と話しておられた由。その御遺志を汲んだご主人が昨夏同窓会あてに数十万円を寄附してこられました。記念植樹の経費はこの御厚志の一部を使うことに決めたのです。

3月4日(月)の午後、同窓会からは玉置同窓会長ほか同窓会役員が集合し、学園からは松田英毅理事長、松田藤夫経営本部長、松野英雄校長らの出席を賜り、教職員の見守る中で校門の左右に桜二本を植樹しました。記念樹は現在二本とも青々と葉が繁りすっかり根付いているようです。来年春の満開が楽しみです。

男女共学50周年記念植樹



# 平成24年度決算について

## 資金収支計算書

| 【収入の部】 (単位: 百万円) |       |       |      |
|------------------|-------|-------|------|
| 科 目              | 予 算   | 決 算   | 差 異  |
| 学生生徒等納付金収入       | 2,157 | 2,150 | 7    |
| 手 数 料 収 入        | 34    | 33    | 1    |
| 寄 付 金 収 入        | 102   | 103   | △1   |
| 補 助 金 収 入        | 461   | 439   | 22   |
| 資 産 運 用 収 入      | 36    | 48    | △12  |
| 資 産 売 却 収 入      | 200   | 400   | △200 |
| 事 業 収 入          | 79    | 68    | 11   |
| 雑 収 入            | 112   | 110   | 2    |
| 前 受 金 収 入        | 435   | 418   | 17   |
| そ の 他 の 収 入      | 79    | 821   | △742 |
| 資金収入調整勘定         | △472  | △500  | 28   |
| 前年度繰越支払資金        | 3,301 | 3,301 | 0    |
| 収 入 の 部 合 計      | 6,523 | 7,392 | △869 |

| 【支出の部】 (単位: 百万円) |       |       |        |
|------------------|-------|-------|--------|
| 科 目              | 予 算   | 決 算   | 差 異    |
| 人 件 費 支 出        | 1,673 | 1,606 | 67     |
| 教育研究経費支出         | 568   | 497   | 71     |
| 管 理 経 費 支 出      | 283   | 219   | 64     |
| 借入金等利息支出         | 0     | 0     | 0      |
| 借入金等返済支出         | 0     | 0     | 0      |
| 施 設 関 係 支 出      | 442   | 467   | △25    |
| 設 備 関 係 支 出      | 39    | 30    | 9      |
| 資 産 運 用 支 出      | 200   | 1,210 | △1,010 |
| そ の 他 の 支 出      | 181   | 144   | 37     |
| [ 予 備 費 ]        | 3     | 0     | 3      |
| 資金支出調整勘定         | △107  | △118  | 11     |
| 次年度繰越支払資金        | 3,241 | 3,337 | △96    |
| 支 出 の 部 合 計      | 6,523 | 7,392 | △869   |

### ＜資金収支の概要＞

収入の大部分を占める学生生徒等納付金収入は予算比700万円減収の21億5,000万円、寄付金収入は予算比100万円増収の1億300万円、補助金収入は予算比2,200万円減収の4億3,900万円となりました。

一方、主な支出については人件費支出が予算比6,700万円減額の16億600万円、教育研究経費支出が予算比7,100万円減額の4億9,700万円、管理経費支出が予算比6,400万円減額の2億1,900万円、施設関係経費が予算比2,500万円増額の4億6,700万円、設備関係支出が予算比900万円減額の3,000万円となりました。

## 貸 借 対 照 表

| 【資産の部】 (単位: 百万円) |         |         |      |
|------------------|---------|---------|------|
| 科 目              | 平成24年度末 | 平成23年度末 | 増 減  |
| 固 定 資 産          | 19,622  | 19,355  | 267  |
| 有形固定資産           | 16,276  | 16,081  | 195  |
| 土地               | 5,731   | 5,731   | 0    |
| 建物               | 9,250   | 9,471   | △221 |
| 構築物              | 50      | 60      | △10  |
| 教育研究用機器備品        | 106     | 136     | △30  |
| その他の機器備品         | 9       | 12      | △3   |
| 図書               | 679     | 671     | 8    |
| 車輛               | 0       | 0       | 0    |
| 建設仮勘定            | 452     | 0       | 452  |
| その他の固定資産         | 3,345   | 3,274   | 71   |
| 流 動 資 産          | 3,470   | 3,388   | 82   |
| 資 産 の 部 合 計      | 23,091  | 22,743  | 348  |

### ＜貸借対照表の概要＞

（資産について）建物、構築物、教育研究用機器備品、その他の機器備品の減少の主因は減価償却によるものです。

建設仮勘定の増加はくらしき作陽大学附属幼稚園開園に伴う建設費用等によるものです。

流動資産の増加は、未収入金、現金預金の増加等によるものです。

（負債について）流動負債の増加は未払金の増加等によるものです。  
（基本金について）増加の主因は、くらしき作陽大学附属幼稚園開園に伴う建設費用等に係る基本金組入によるものです。

（消費収支差額について）前年度までの消費支出超過額に今年度の消費支出超過額1億7,300万円（今年度消費収支差額）が加わりました。

平成24年度決算の概要は以下のとおりです。この決算は、5月21日に行なわれた理事会・評議員会の承認を受けたものです。

## 消費収支計算書

| 【収入の部】 (単位: 百万円) |       |       |     |
|------------------|-------|-------|-----|
| 科 目              | 予 算   | 決 算   | 差 異 |
| 学生生徒等納付金         | 2,157 | 2,150 | 7   |
| 手 数 料            | 34    | 33    | 1   |
| 寄 付 金            | 104   | 105   | △1  |
| 補 助 金            | 461   | 439   | 22  |
| 資 産 運 用 収 入      | 35    | 41    | △6  |
| 事 業 収 入          | 79    | 68    | 11  |
| 雑 収 入            | 112   | 110   | 2   |
| 帰 属 収 入 合 計      | 2,981 | 2,946 | 35  |
| 基本金組入額合計         | △481  | △475  | △6  |
| 消費収入の部合計         | 2,500 | 2,471 | 29  |

| 【支出の部】 (単位: 百万円) |       |       |     |
|------------------|-------|-------|-----|
| 科 目              | 予 算   | 決 算   | 差 異 |
| 人 件 費            | 1,696 | 1,621 | 75  |
| 教育研究経費           | 868   | 764   | 104 |
| 管 理 経 費          | 349   | 255   | 94  |
| 借入金等利息           | 0     | 0     | 0   |
| 資産処分差額           | 0     | 1     | △1  |
| 徴収不能引当金繰入額       | 5     | 1     | 4   |
| 徴 収 不 能 額        | 0     | 1     | △1  |
| [ 予 備 費 ]        | 3     | 0     | 3   |
| 消費支出の部合計         | 2,921 | 2,644 | 277 |
| 当年度消費支出超過額       | 421   | 173   |     |
| 前年度繰越消費支出超過額     | 1,458 | 1,458 |     |
| 基本金取崩額           | 0     | 0     |     |
| 前年度繰越消費支出超過額     | 1,879 | 1,631 |     |

### ＜消費収支の概要＞

収入については大部分を占める学生生徒等納付金、寄付金、補助金の合計が予算比2,800万円減少となっており、帰属収入合計は予算比3,500万円減少の29億4,600万円となりました。また、基本金組入額合計が予算比600万円減少となった結果、消費収入合計は予算比2,900万円減少の24億7,100万円となりました。

一方、支出については大部分を占める人件費、教育研究経費、管理経費の合計が予算比2億7,300万円減少して26億4,000万円となりました。その結果、消費支出合計は予算比2億7,700万円減少して26億4,400万円となりました。

当年度消費支出超過額は特に予算比で支出が減少となったことにより1億7,300万円となりました。その結果、翌年度繰越消費支出超過額は16億3,100万円となりました。

| 【負債の部】 (単位: 百万円) |         |         |     |
|------------------|---------|---------|-----|
| 科 目              | 平成24年度末 | 平成23年度末 | 増 減 |
| 固 定 負 債          | 652     | 651     | 1   |
| 流 動 負 債          | 565     | 519     | 46  |
| 負 債 の 部 合 計      | 1,217   | 1,170   | 47  |

| 【基本金の部】 (単位: 百万円) |         |         |     |
|-------------------|---------|---------|-----|
| 科 目               | 平成24年度末 | 平成23年度末 | 増 減 |
| 第 1 号 基 本 金       | 23,113  | 22,638  | 475 |
| 第 2 号 基 本 金       | 0       | 0       | 0   |
| 第 3 号 基 本 金       | 167     | 167     | 0   |
| 第 4 号 基 本 金       | 225     | 225     | 0   |
| 基 本 金 の 部 合 計     | 23,506  | 23,031  | 475 |

| 【消費収支差額の部】 (単位: 百万円) |         |         |      |
|----------------------|---------|---------|------|
| 科 目                  | 平成24年度末 | 平成23年度末 | 増 減  |
| 翌年度繰越消費支出超過額         | 1,631   | 1,458   | 173  |
| 消費収支差額の部合計           | △1,631  | △1,458  | △173 |

| 【負債の部、基本金の部、消費収支差額の部合計】 (単位: 百万円) |         |         |     |
|-----------------------------------|---------|---------|-----|
| 科 目                               | 平成24年度末 | 平成23年度末 | 増 減 |
| 負債の部、基本金の部<br>消費収支差額の部合計          | 23,091  | 22,743  | 348 |

※ 表示された数値以下の端数は個々に四捨五入してあるので、合計欄の数値と一致しない場合があります。



# 演奏会・公開講座等のご案内

Kurashiki Sakuyo University Faculty of Music The Department of Music The Department of Music Education Sakuyo Junior College of Music The Department of Music

7月

July 2013

- 8日(月) 第21回作陽トロンボーンアンサンブルサマーコンサート**  
(開演) 18:30  
■Let's Bones March、ディープ・パープルメドレー  
■会場：野外音楽堂（雨天時：7号館（学生食堂）） ■入場料：無料
- 12日(金) 2013作陽ファカルティコンサートI**  
(開演) 19:00  
**ティモシー・カーター／クラリネットリサイタル**  
■今年度赴任されたティモシー・カーター先生によるクラリネットリサイタル  
■モーツァルト／ヴァイオリンソナタ K.378、シューマン／幻想小曲集 Op.73 他  
■会場：藤花楽堂 ■入場料：一般2,000円・高校生以下無料
- 17日(水) モスクワ音楽院特別演奏コース学内公開演奏会II**  
(開演) 18:45  
■音楽学部モスクワ音楽院特別演奏コースの学生による演奏会  
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 17日(水) ピアノ伴奏演習（短大）前期発表会**  
(開演) 18:45  
■ピアノ伴奏演習履修生によるアンサンブルやソリストとの共演  
■会場：1号館125室 ■入場料：無料
- 19日(金) MILESTONE CONCERT 夏Ver.**  
(開演) 18:45  
■室内楽履修生によるピアノアンサンブル  
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 21日(日) 作陽ジュニア・ウインド・アカデミー（作陽こども吹奏楽団）第4回定期演奏会**  
(開演) 14:00  
■作陽ジュニア・ウインド・アカデミー（作陽こども吹奏楽団）の第4回定期演奏会  
■マーチ及び吹奏楽オリジナル作品を演奏  
■会場：藤花楽堂 ■入場料：300円
- 23日(火) 作陽トランペットアンサンブルサマーコンサート**  
(開演) 19:00  
■トランペットボナパルティ、スクリーンミュージックメドレー、トロピカルファンタジー 他  
■会場：7号館（学生食堂） ■入場料：無料
- 23日(火) 前期オペラ演習発表会**  
(開演) 18:45  
■オペラハイライト演奏会  
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 24日(水) ピアノ伴奏演習（大学）前期発表会**  
(開演) 18:45  
■ピアノ伴奏演習履修生によるアンサンブルやソリストとの共演  
■会場：1号館125室 ■入場料：無料
- 24日(水) 室内楽研究発表会（ピアノデュオ）**  
(開演) 18:45  
■室内楽履修生によるピアノデュオコンサート  
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料

8月

August 2013

- 1日(木) ヴォーカル・サマーコンサート**  
(開演) 18:45  
■音楽専修の学部生、短大生によるサマーコンサート  
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 3日(土) 作陽音楽短期大学 公開講座〈要申込〉**  
(開始) 10:00  
■ピアノ講座「ツェルニーの魅力と楽しみ方」(居川先生)と「ショパンの中のベルカント」(重利先生) ※両講座とも社会人対象  
■会場：1号館 ■受講料：1,000円
- 5日(月) 大学院サマーコンサート**  
(開演) 13:30  
■大学院生によるサマーコンサート  
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 18日(日) 第2回サクソフーンアンサンブル サマーコンサート**  
(開演) 14:00  
■ポップスなど肩のこらない選曲でリラックスした雰囲気演奏会  
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 24日(土) 作陽音楽短期大学 公開講座〈要申込〉**  
(開始) 10:00  
■ピアノ講座「ツェルニーの魅力と楽しみ方」(居川先生)と「ショパンの中のベルカント」(重利先生) ※両講座とも社会人対象  
■会場：1号館 ■受講料：1,000円
- 31日(土) 第24回作陽ウインドアンサンブル定期演奏会**  
(開演) 14:30  
■結成24年目を迎える老舗サークルによる定期演奏会  
■会場：藤花楽堂 ■入場料：500円

10月

October 2013

- 2日(水) 平成25年度特待生コンサート（1年生）**  
(開演) 18:45  
■平成25年度特待生（1年生）による演奏会  
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 9日(水) 平成25年度特待生コンサート（2年生）**  
(開演) 18:45  
■平成25年度特待生（2年生）による演奏会  
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 16日(水) 平成25年度特待生コンサート（3,4年生）**  
(開演) 18:45  
■平成25年度特待生（3,4年生）による演奏会  
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 25日(金) 第46回くらしき作陽大学管弦楽団定期演奏会**  
(開演) 19:00  
■ムソルグスキー／禿山の一夜、ラヴェル／ボレロ、チャイコフスキー／交響曲第5番  
■指揮：ユーリ・トカチェンコ  
■会場：藤花楽堂 ■入場料：未定

11月

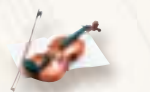
November 2013

- 10日(日) 第28回サクソフーン・オーケストラ演奏会**  
(開演) 14:00  
■ソプラニーノからバスまで6種類のサクソフーンによるオーケストラ演奏会  
■会場：藤花楽堂 ■入場料：500円
- 13日(水) モスクワ音楽院特別演奏コース学内公開演奏会III**  
(開演) 18:45  
■音楽学部モスクワ音楽院特別演奏コースの学生による演奏会  
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 16日(土) EARNEST Concert**  
(開演) 13:30  
■ピアノ独奏・2台ピアノ連弾、管楽器等による多彩な演奏会  
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 17日(日) EARNEST Concert**  
(開演) 13:30  
■ピアノ独奏、管楽器等による多彩な演奏会  
■会場：1号館125室 ■入場料：無料
- 23日(土) 第30回作陽Music Gallery**  
(開演) 14:30  
■電子音楽専修生によるソロ・アンサンブルコンサート  
■会場：聖徳殿 ■入場料：500円
- 23日(土) アカデミア・ウインド・オーケストラ**  
(開演) 14:30  
**Drum&Brass Corps "MUSICA" 第12回定期演奏会**  
■吹奏楽およびマーチングステージリルの演奏会  
■会場：藤花楽堂 ■入場料：500円
- 24日(日) Jardin du son ～音の庭～**  
(開演) 13:00  
■ピアノ独奏を中心に声楽、管楽器による演奏発表  
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 24日(日) 第18回フルートフェスティバル**  
(開演) 14:30  
■シュトラウス／ティル・オレインシュピーゲルと愉快な悪戯 他  
■会場：藤花楽堂 ■入場料：500円
- 26日(火) 弦楽合奏研究発表会**  
(開演) 18:45  
■ジェミニアーニ／ジャコンヌ、ヴィヴァルディ／ヴァイオリン協奏曲a-moll  
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 29日(金) 2013作陽ファカルティコンサートII**  
(開演) 19:00  
**長瀬敏和／サクソフーンリサイタル**  
■今年度赴任された長瀬敏和先生によるサクソフーンリサイタル  
■酒井格／クロアチア・リーフ・スイート、ヴィラ・ロボス／ブラジル風パッサ 第5番 他  
■会場：聖徳殿 ■入場料：一般2,000円・高校生以下無料

## 倉敷館コンサート

- 開催日 5月～7月、10月～12月の毎週金曜日
  - 時 間 18:30～19:00(5～7月) 18:00～18:30(10～12月)
  - 会 場 倉敷美観地区内「倉敷館」
  - 入場料 無料(予約不要)
- 本学学生、教員による美観地区での夜間コンサート

都合により日程、出演者等、内容が変更になる場合がございます。  
最新情報はお電話又は大学ホームページにてご確認ください。



《お問い合わせ先》

## くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学

### 演奏芸術センター086-523-0822

FAX.086-436-0283

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3515 E-mail sakuyo.kikaku@ksu.ac.jp

http://www.ksu.ac.jp/

くらしき作陽大学

検索



### メールマガジン配信開始!

くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学の QRコードで簡単登録!

演奏会・公開講座等の最新のイベント情報やお得な情報をいち早くお届けします。

## SAKUYOメルマガ会員募集中

PCからはこちら! https://j.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=sakuyokikaku



◎ 気になる施設の見学や体験授業で、大学の雰囲気を知らるチャンス

# Open Campus 2013

要予約

《 オープンキャンパス  
お申込みはこちら▼ 》

7/28 [日] 8/25 [日] 9/15 [日] 2014 春のオープンキャンパス 3/26 [水]

11:00~15:00(受付10:30~)

13:00~16:00(受付12:30~)



JR新倉敷駅北口より無料送迎バスを随時運行します。

◎ 音大入試の傾向と対策を指導

## 音楽受験講習会

要予約

要参加費

夏 期

秋 期

冬 期

7/20 [土]・21 [日] 10/5 [土]・6 [日] 12/14 [土]・15 [日]

[対象] 高校生以上(1・2年生も可) [会場] ぐらしき作陽大学/作陽音楽短期大学

資料請求  
お申し込みは



フリーアクセスで申し込む  
0120-911-394



Eメールで申し込む  
nyushi.sakuyo@ksu.ac.jp



ホームページから申し込む

ぐらしき作陽大学

検 索

# ぐらしき作陽大学

# 作陽音楽短期大学

平成26年度  
岡山県作陽高校  
受験相談・入学相談  
のご案内

- ・学校案内
- ・生徒募集要項
- ・オープンスクール  
参加申し込み
- ・入試情報
- ・授業見学申し込み  
等

随時受付中

SAKUYO  
OPEN  
SCHOOL  
いつ来るの?  
いまだしょ!



生徒会イメージキャラクター  
さっぴーちゃん

## 2013 SAKUYO OPEN SCHOOL

| 第1回               | 第2回               | 第3回                | 第4回                | 清陵祭一般公開         |
|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|-----------------|
| 一招待一              | 一体験一              | 一説明一               | 一準備一               | 文化の部 9/8日       |
| 進路と一緒に<br>考えよう    | 授業講座体験<br>部活動体験   | 教育講演会<br>入試説明会     | 入試問題対策<br>面接対策講座   | 体育の部 9/12日      |
| 6/22 [土]<br>9:00~ | 7/28 [日]<br>9:00~ | 10/27 [日]<br>9:00~ | 11/23 [土]<br>9:00~ | 授業・学校見学<br>随時公開 |

★みなさまのご参加をお待ちしております★



作陽高校

で 検 索

## 岡山県作陽高等学校

渉外部入試係

〒708-8518 津山市八出1320 tel: 0868-23-2188 fax: 0868-24-7802

Eメール: sakuyo@sakuyo-h.ed.jp HP: http://www.sakuyo-h.ed.jp

学園報に関するお問い合わせは

作陽学園事務局

学園報担当(企画係)

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3515  
tel 086-523-0822/fax 086-436-0283  
Eメール sakuyo.kikaku@ksu.ac.jp